

提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会について

1 アンケート結果等

アンケート対象		対象者数	回答者数	回答率
発表団体	会場参加	24	17	70.8%
	オンライン参加	3		
一般	会場参加	5	4	80.0%
	オンライン参加	3		
合計		35	21	60.0%

※市民活動推進委員会、事務局、UMECO職員のうち報告会従事者は除く。

※発表団体には、提案型協働事業担当課の市職員1人を含む。

※一般（8人）の内訳：市職員1人、UMECO職員5人、その他2人 ㊦

※網掛けは、「2方針（案）」に関連する部分で、対応する符号（㊦など）を記載している。

※オンライン参加者から回答がなかったため、以下の集計では参加区分を削除。 ㊧

Q1 今回の報告会をどこでお知りになりましたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
広報小田原	1		1	4.8%
市ホームページ	1	1	2	9.5%
市ツイッター				
UMECOホームページ	1	1	2	9.5%
チラシ・ポスター				
市の案内	9		9	42.9% ㊦
その他	5	2	7	33.3% ㊦
無回答				
合計	17	4	21	100.0%

※その他の内容

[発表団体]

・所属団体からの連絡

[一般]

・友人のFacebook

Q2 会場参加とオンライン参加の併用について、どのように思われましたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
良かった	12	2	14	66.7% ㊦
悪かった				
その他	2		2	9.5%
無回答	3	2	5	23.8%
合計	17	4	21	100.0%

※良かった理由

[発表団体]

・会場的人数が少なくて良かった。

・子どもがいるメンバーも気軽に参加できるため、誘いやすかった。

[一般]

・他地域からも見ることができる。

※その他の内容

[発表団体]

・個人情報の保護上、会場参加のみにして頂いた方が安心。 ㊦

・オンライン参加したことがなく、判断できない。

Q3 会場の音響や映像はいかがでしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
問題なかった	13	3	16	76.2%
音声が聞こえにくかった				
映像が止まることがあった				
その他	1		1	4.8%
無回答	3	1	4	19.0%
合計	17	4	21	100.0%

(A)

※その他の内容

[発表団体]

・前半のハウリングが気になった。(A)

Q4 発表時間（8分まで）の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
長い				
適切	14	4	18	85.7%
短い	3		3	14.3%
無回答				
合計	17	4	21	100.0%

(B)

※短い場合の適切な時間 [発表団体]10分まで（短くても可とする）

Q5 質疑応答時間（7分程度）の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
長い				
適切	17	4	21	100.0%
短い				
無回答				
合計	17	4	21	100.0%

(B)

Q6 発表では「コロナ禍で工夫したこと」に言及いただきましたが、いかがでしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
他団体の参考になると思う	14	2	16	76.2%
他団体の参考にならないと思う				
他に提起してほしい内容がある				
その他		1	1	4.8%
無回答	3	1	4	19.0%
合計	17	4	21	100.0%

(C)

Q7 その他、ご意見等を自由に記入してください。

[発表団体]

・Zoomの録画を公表する場合は、事前に団体に対して内容確認をとってほしい。(E)

- ・今後の活動で他団体との交流やコラボを活動に取り込みたい。
- ・他団体の取り組みや活動の方針等について聞くことができ、参考になった。
- ・一般参加者も入ることができ、これまでの試行錯誤に感謝している。

[一般]

- ・発表・内容のレベルに差があった。
- ・個人でできる活動や必要性が感じられない支出が見受けられた。
- ・どのグループも大変な事をしっかりやっておられ、頭が下がる。
- ・コロナ禍でも様々な工夫をして活動されており、参考になった。
- ・スタートアップ事業への応募が盛んになる工夫がほしい。

Q8 あなたについて教えてください。

選択肢	発表団体	一般	合計	
市内在住	14	1	15	71.4%
市外在住	3	3	6	28.6%
合計	17	4	21	100.0%

○交流シート

・質問については0件、連携希望については2件の回答があった。

・連携希望の現時点での状況 具体的に協力できることがあれば検討 …2件 ①

2 次回の方針（案） ※詳細な開催案は、会議でのご意見を踏まえ改めてご提示します。

アンケート等考察	次回の方針（案）
① Q2において、約7割が参加方法を会場とオンラインから選択できたことを「良かった」としている。また、Q3において約8割が会場の音響や映像に問題がなかったとしている一方で、「前半のハウリングが気になった。」という意見があった。	①発表者を除く会場参加とオンライン参加の選択制、UMECOによるZoomの事前レクチャー、UMECO会議室1～3での開催を継続する。 ②動画を用いた発表に伴うハウリングが発生したため、対応可能なレイアウト・機器構成を検討する。
② Q4・5において、多くが発表や質疑応答の長さを「適切」としている。	③発表（8分まで）、質疑応答（7分程度）のいずれもそのまま継続する。
③ Q6で、発表における「コロナ禍において工夫したこと」への言及について、約8割が「他団体の参考になると思う」としている。	④各団体の活動の参考になるよう、発表における特定のテーマへの言及を継続する。テーマについては、開催時点の状況を踏まえ、今後検討する。
④ 交流シートの利用はあるものの、少数であった。	⑤貴重な交流の機会であるため交流シート自体は継続するが、連携事例を掲載する等、内容を工夫する。
⑤ 個人情報の保護を強化すべき旨の意見が見られた。	⑥市としてZoomの録画を配信する予定はないが、会場参加とオンライン参加を併用する以上は参加者等により拡散される可能性があるため、発表団体に対し、被写体への事前承諾や画像の加工を徹底するよう改めて周知する。
⑥ 一般参加のうち、UMECOや市の職員を除く参加者は2人であり、またQ1において「市の案内」「その他」以外で報告会を知った人は少数であった。	⑦引き続き、一般市民向けの周知方法を検討する。  [参考：R3→R4の改善点] ・早めのホームページ掲載 ・チラシ配布先の増（UMECO登録団体、市民学校等） ・市ツイッターでの周知
⑦ オンライン参加者からアンケートの回答を得られなかった。	⑧報告会終了後に、オンライン参加者宛てのリマインドメールを送信する。